



中部電力

2020年度第1四半期 決算説明資料

2020年7月31日

	<スライド番号>
I 2020年度第1四半期 決算概要	
決算概要 1
セグメント別決算概要 4
発電電力量 8
（参考）期ずれ影響のイメージ（実績） 9
2020年度 業績見通しの概要10
（参考）期ずれ影響のイメージ（年度見通し）12
II 参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
連結収支比較表13
連結財政状態の概要14
再生可能エネルギー-固定価格買取制度における収支影響15

I 2020年度第1四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「1 Q」表記は4月から6月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：6,823億円
新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少(△504億円)や燃料費調整額の減少(△278億円)などから、前年同期に比べ721億円の減収
- 経常利益：481億円
期ずれ差益の縮小(△170億円[220億円→50億円])や、前年においてJERAが海外発電案件等の売却益を計上したことの反動(△104億円)に加え、新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少などから、前年同期に比べ323億円の減益
(参考) 期ずれを除いた経常利益：430億円程度

- ・ 売上高は、2016/1Q以来、4年ぶりの減収
- ・ 経常利益は、2017/1Q以来、3年ぶりの減益
- ・ 2016/1Q以来、4年ぶりの減収減益

(億円,%)

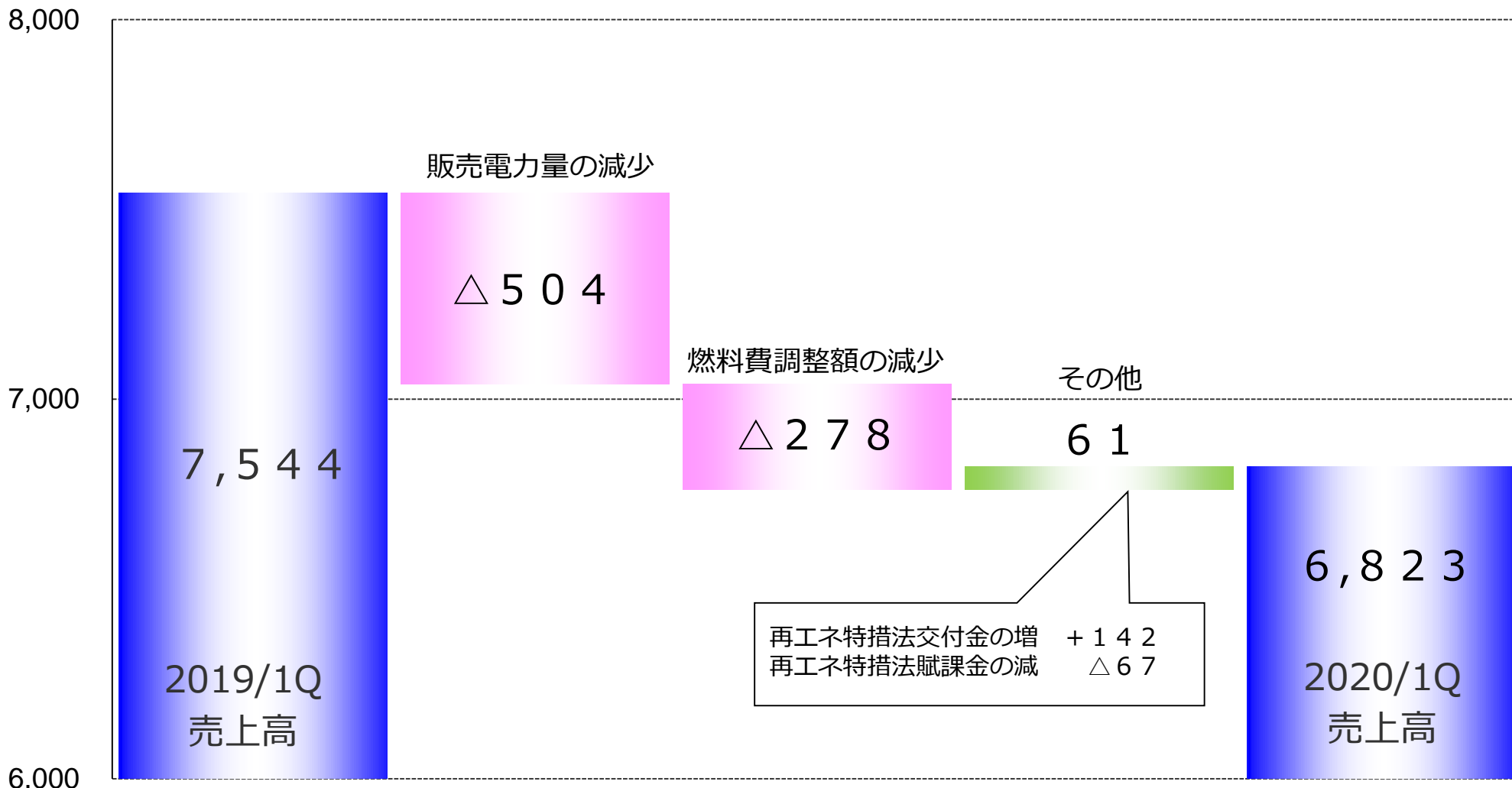
	2020/1Q (A)	2019/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	6,823	7,544	△721	△9.6
営業利益	384	340	44	13.1
経常利益	481	805	△323	△40.2
特別利益	—	190	△190	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	882	△544	△61.7

(注) 連結対象会社数 2020/1Q 連結子会社 35社(△2社) 持分法適用会社 47社(+13社) [() 内は前年同期差]

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉 (721億円の減収)

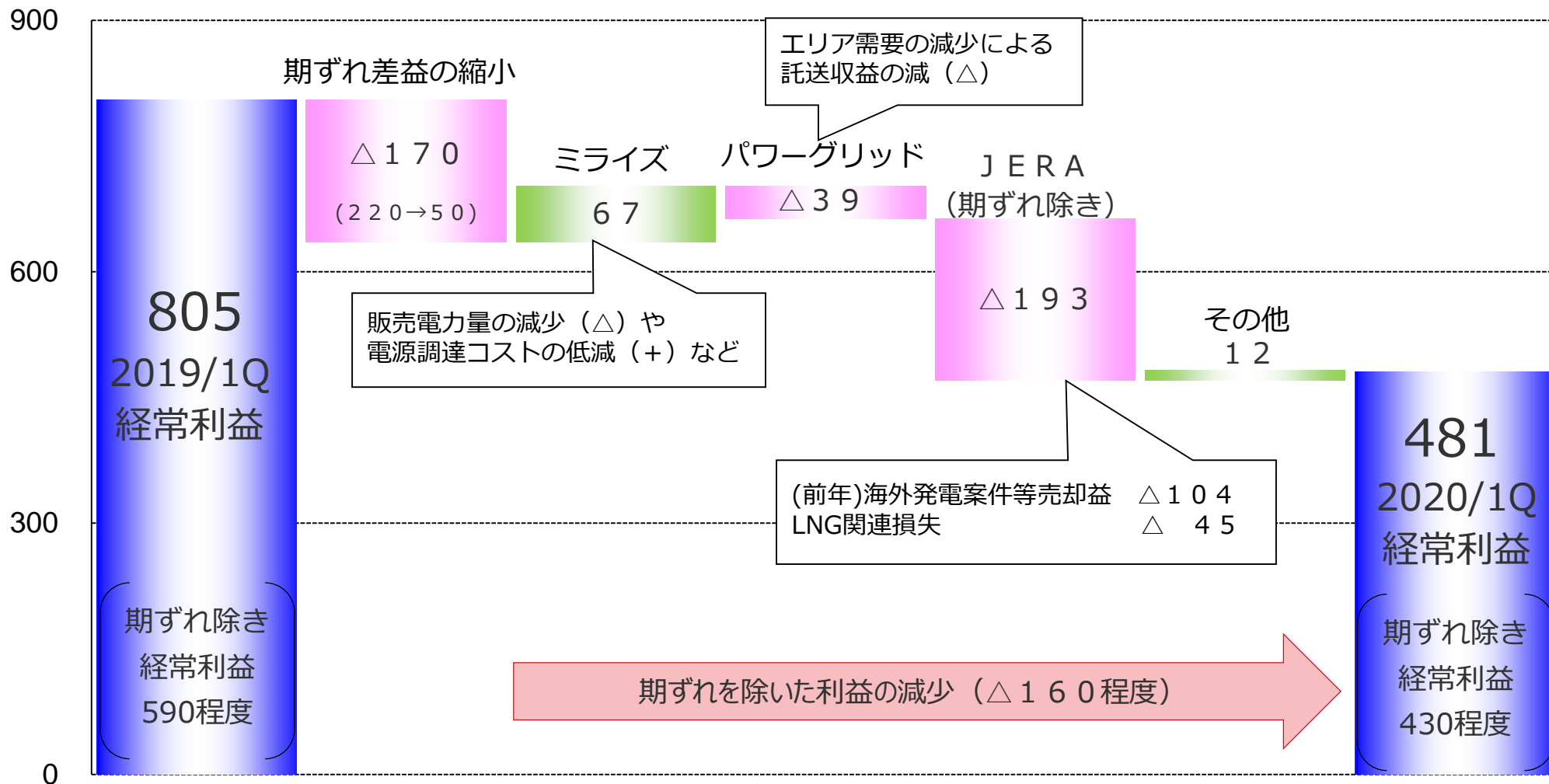
(単位：億円)



決算概要③

〈連結経常利益の変動要因〉 (323億円の減益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2020/1Q (A)	2019/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	5,845	6,707	△861	△12.8
パワーグリッド	1,703	1,792	△88	△4.9
その他(※1)	1,623	1,693	△69	△4.1
調整額	△2,350	△2,648	298	△11.3
合計	6,823	7,544	△721	△9.6

【経常損益】

(億円,%)

	2020/1Q (A)	2019/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	167	100	67	67.3
パワーグリッド	59	99	△39	△40.0
J E R A (※2)	115	479	△363	△75.9
その他(※1)	361	190	171	90.2
調整額	△223	△63	△159	253.2
合計	481	805	△323	△40.2

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。また、グループ会社のセグメント区分変更に伴い、2019年度第1四半期実績の組替えを実施しております。

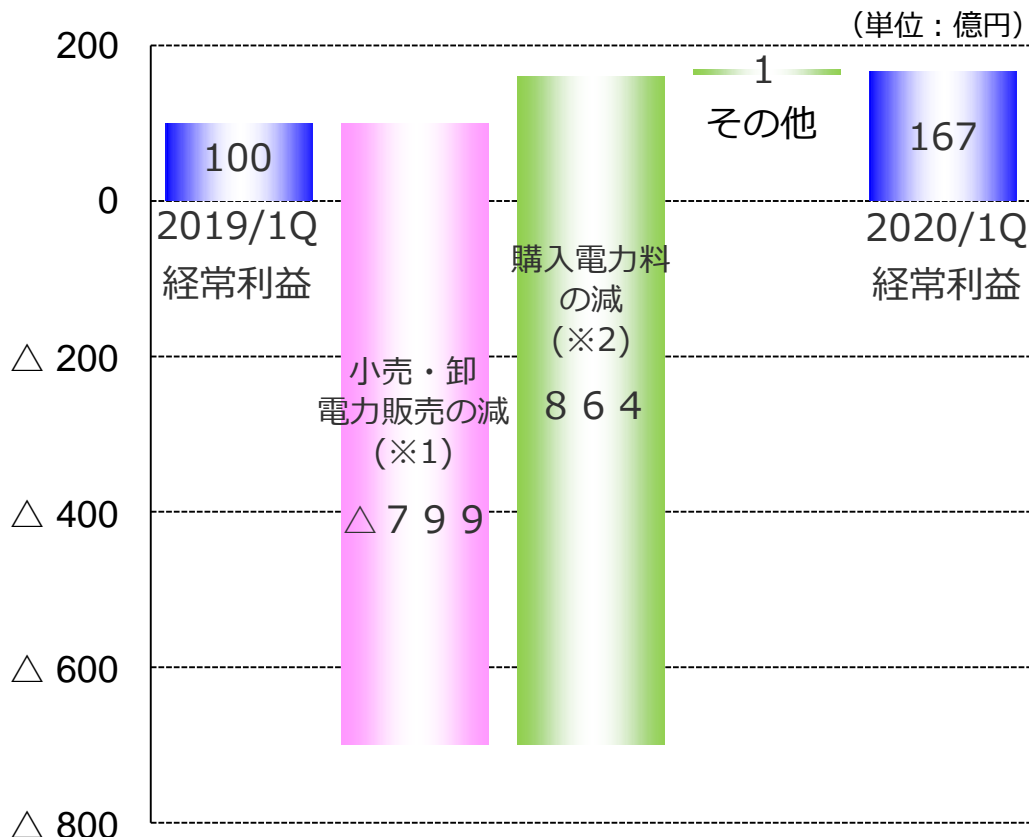
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R A は、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少や販売面での競争影響による収支悪化はあったものの、電源調達コストの低減に努めたことなどから、前年同期に比べ 67億円の増益



- ※1 電灯電力料,他社販売電力料,再エネ特措法交付金
 ※2 他社購入電力料,接続供給託送料,再エネ特措法納付金

(販売電力量)

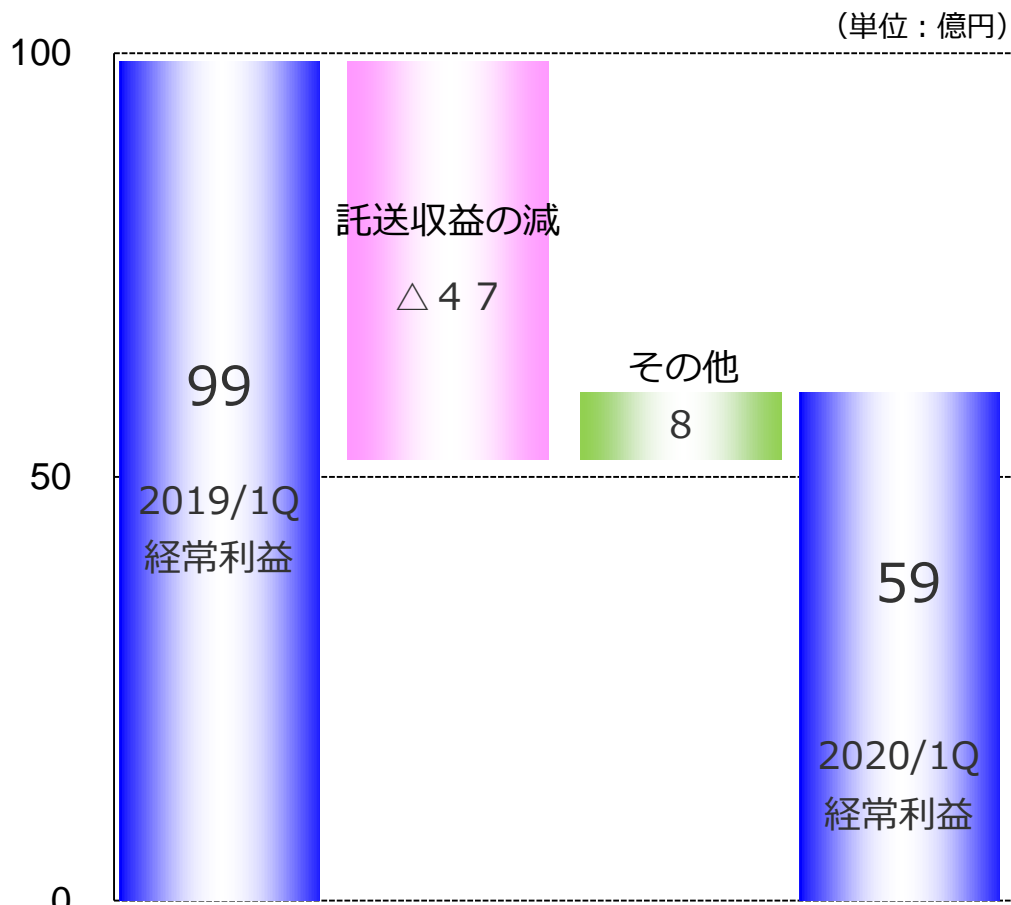
	'20/1Q (A)	'19/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	75	78	△3	△3.5
高圧・特別高圧	175	200	△25	△12.6
合計	251	279	△28	△10.0
グループ合計の 販売電力量	261	291	△31	△10.5
他社販売電力量	14	24	△9	△39.5

- ※ 2019年度第1四半期の販売電力量は販売カンパニーの実績を記載しております。
 ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症の影響などによるエリア需要の減少などから、前期同期に比べ39億円の減益



(エリア需要)

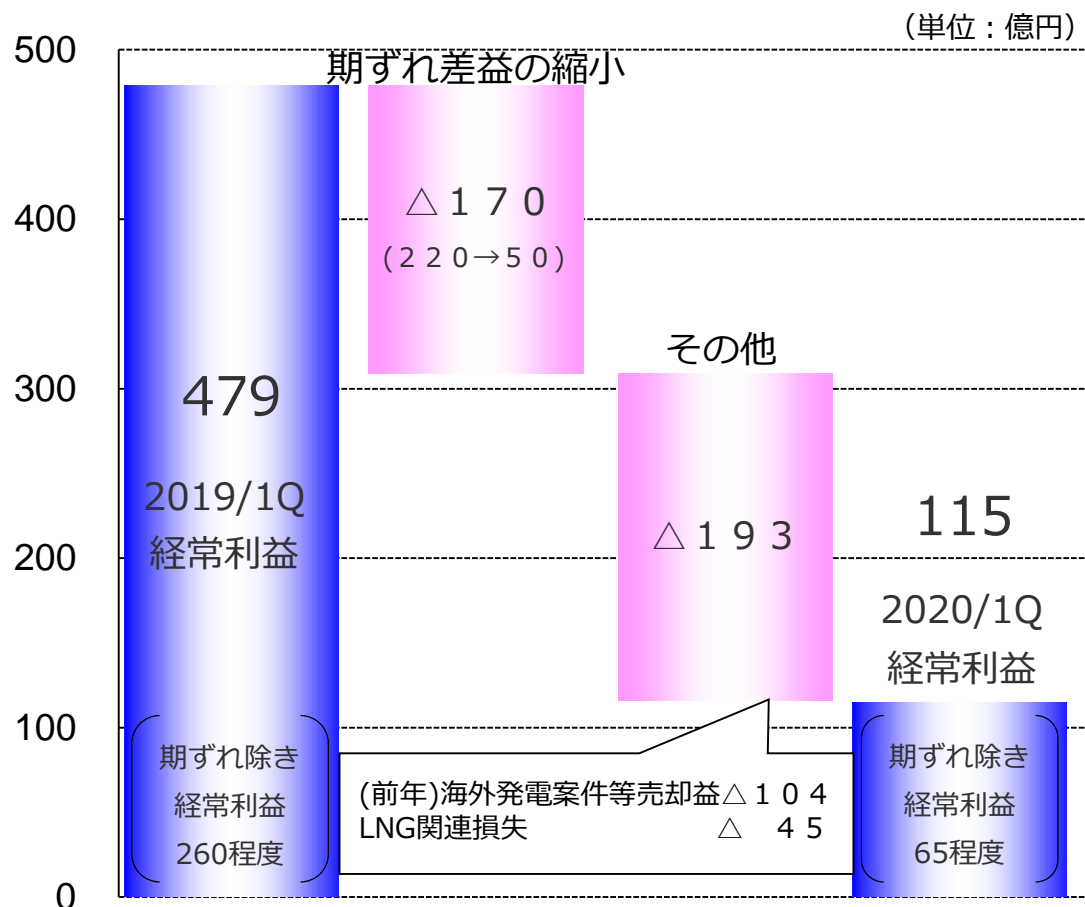
(億kWh,%)

	'20/1Q (A)	'19/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
エリア需要	273	300	△27	△9.1

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常利益の変動要因〉

- 期ずれ差益の縮小や前年において海外発電案件の売却益を計上したことに加え、販売電力量の減少によるLNG関連損失が発生したことなどから、前年同期に比べ363億円減益



(CIF価格・為替レート)

	'20/1Q (A)	'19/1Q (B)	増減 (A-B)
	原油CIF価格(\$/b)	32.2	71.5
為替レート(円/\$)	107.6	109.9	△2.3

※2020/1Qの原油CIF価格は速報値

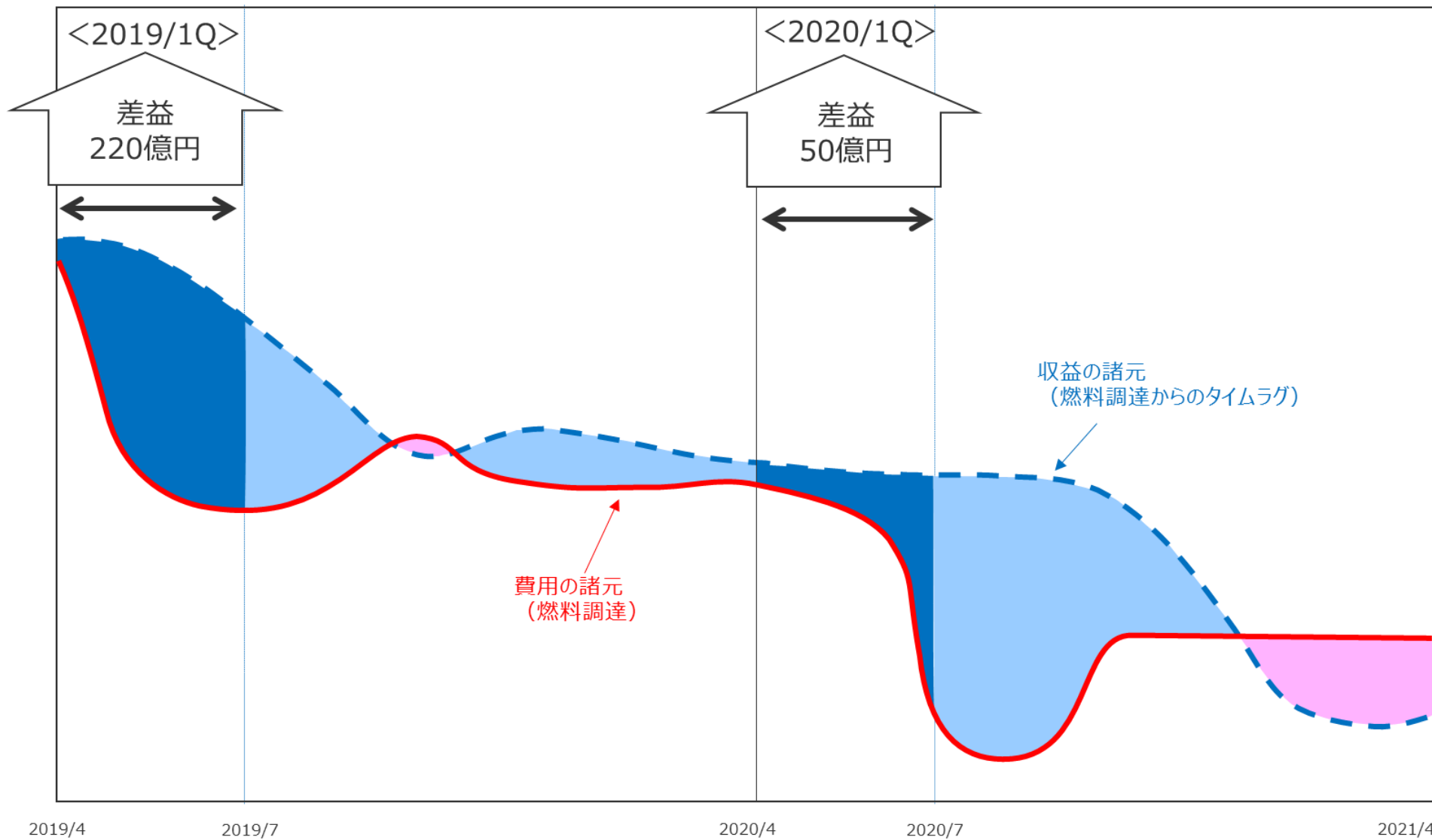
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を上回り、6億kWh増加
- **新エネルギー** 四日市バイオマス発電所が運開したことなどから、1億kWh増加

(億kWh,%)

	2020/1Q (A)	2019/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	26 (95.4)	20 (74.5)	6 (20.9)	31.7
原子力 (設備利用率)	— (—)	△1 (—)	1 (—)	—
新エネルギー	1	0	1	409.3
合計	27	19	8	39.1

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2020年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結)

2020年度業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響について、合理的に想定することが困難であったため、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしましたので、公表いたします。

電力需要（中部エリア）の減少は、5月で底を打ち、6月以降緩やかに回復している状況にあります。

足元の感染再拡大や、コロナによる社会構造等の変化が、先行きの電力需要に与える影響は不透明ではありますが、第1四半期実績やお客さまからお聞きした情報など、現時点で把握可能な情報をもとに、エリア電力需要は、引続き緩やかに回復するものの、2020年度内の回復は望めない状況であり、前期に比べ△6%程度の減少と想定しております。

■ 連結売上高 : 2兆7,500億円となる見込み

■ 連結経常利益 : 1,250億円となる見込み

燃料価格の低下に伴い、期ずれ差益が拡大するものの、新型コロナウイルス感染症の影響などによる販売電力量の減少などにより、前期に比べ減益

なお、期ずれを除いた利益は、750億円程度となる見込み

- ・ 売上高は、2016年度以来、4年ぶりの減収
- ・ 経常利益は、2018年度以来、2年ぶりの減益
- ・ 2016年度以来、4年ぶりの減収減益

(億円,%)

	2020年度予想 (A)	2019年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	27,500	30,659	△3,150程度	△10.3
経常利益	1,250	1,918	△670程度	△34.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,050	1,634	△580程度	△35.8

2020年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(販売電力量)

(億kWh,%)

	2020年度予想 (A)	2019年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,063	1,172	△109	△9.4
グループ合計の販売電力量	1,118	1,225	△107	△8.8

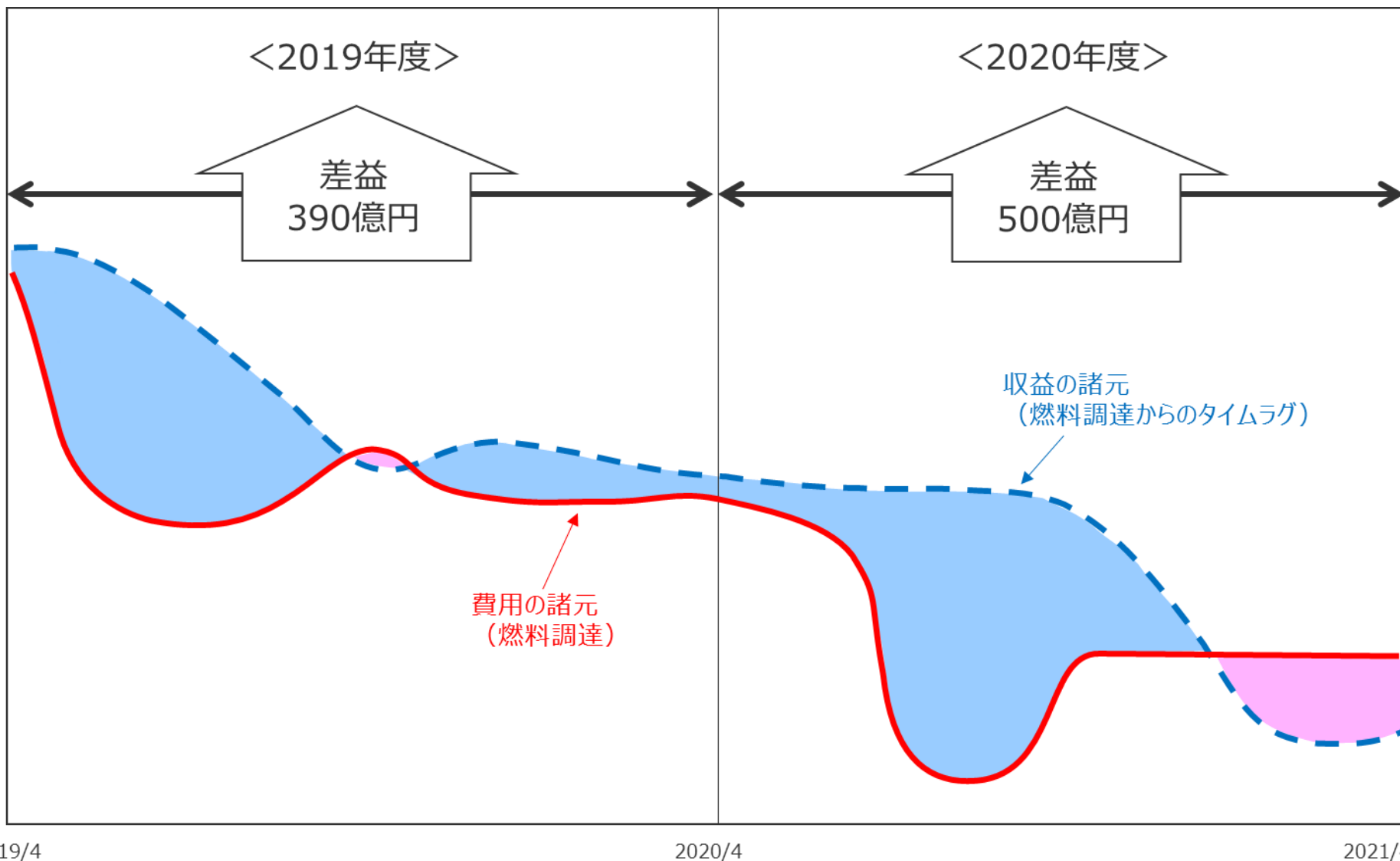
※ 2020年度は中部電力ミライズ、2019年度は販売カンパニーの値を記載しております。

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

		2020年度予想	2019年度実績
原油CIF価格	(\$/b)	38程度	68
為替レート	(円/\$)	109程度	109
原子力利用率	(%)	—	—

(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)



2019/4

2020/4

2021/4

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2020/1Q (A)	2019/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	6,823	7,544	△721	△9.6
持分法による投資利益	132	489	△357	△73.0
その他収益	18	41	△22	△54.8
営業外収益	151	530	△379	△71.5
経常収益	6,974	8,075	△1,100	△13.6
営業費用	6,438	7,204	△765	△10.6
営業外費用	54	65	△11	△17.1
経常費用	6,492	7,269	△776	△10.7
(営業利益)	(384)	(340)	(44)	(13.1)
経常利益	481	805	△323	△40.2
渴水準備金	△0	△6	6	△89.6
特別利益	—	190	△190	—
法人税等	136	108	27	25.8
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	12	△4	△34.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	882	△544	△61.7

連結財政状態の概要

(億円)

	2020/6末 (A)	2020/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	55,145	55,008	136
負債	35,404	35,387	17
純資産	19,740	19,620	119

<主な増減理由>

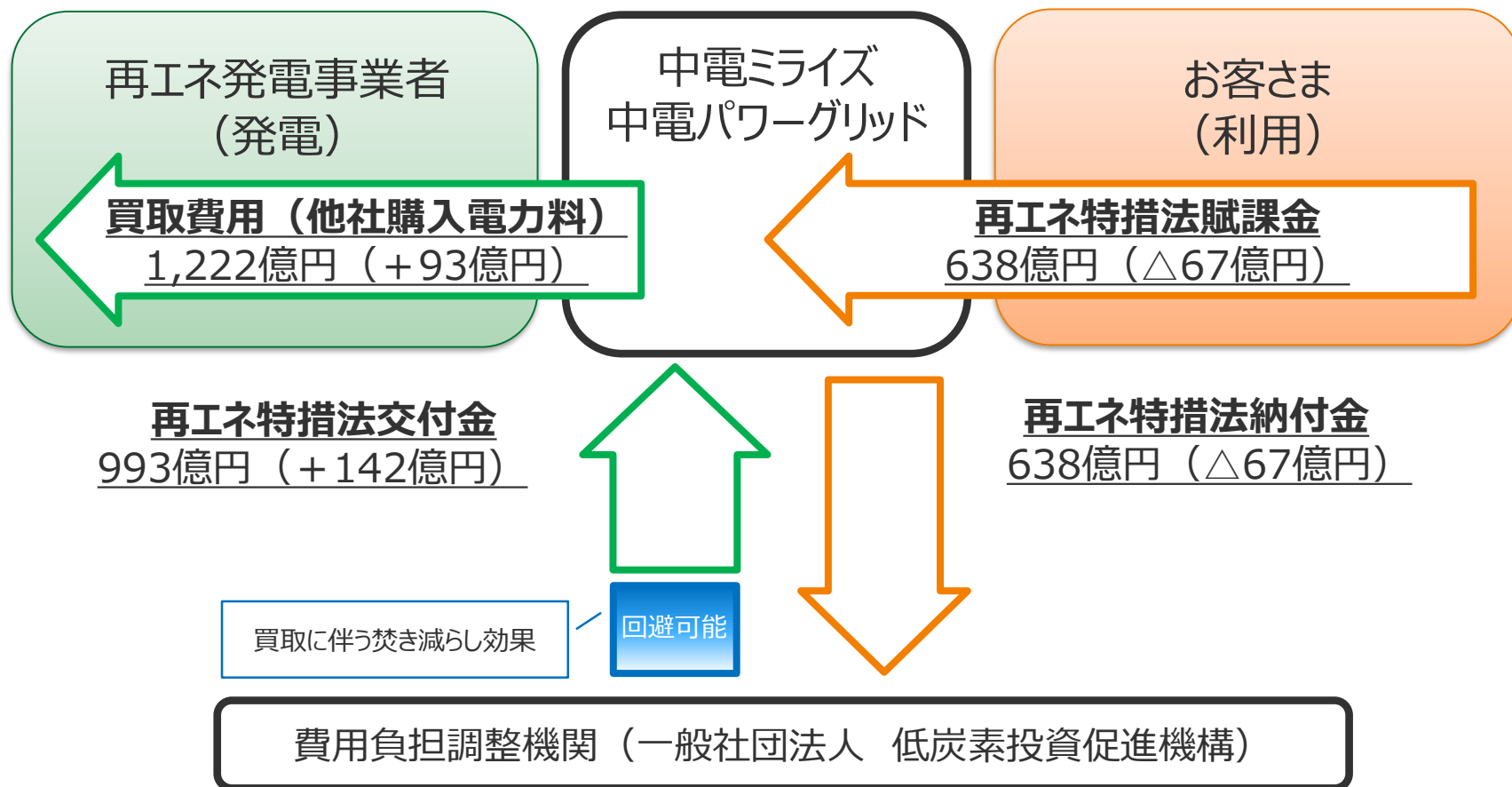
売掛金の増 338

自己資本比率(%)	34.5	34.4	0.1
有利子負債残高	25,054	24,250	803

コマーシャル・ペーパー
の増 480

再生可能エネルギー - 固定価格買取制度における収支影響

<2020/1Q実績> ※ () 内は前年同期差



本資料取扱上のご注意

本資料の業績見通しは、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。